

医療被ばくに関する説明書

CT 検査を受けられる方へ

CT 検査について

X線を使用して身体の断面像を撮影し病気の診断を行う検査です。検査にかかる時間は 10 分程度ですが、実際に放射線を照射している時間は数十秒です。検査を行うことで得られる医療情報の必要性が、被ばくによるリスクより十分に大きいと医師が判断する場合にのみ行います。

被ばく量（放射線の量）について

通常の CT 検査により受ける放射線の量は 5～30 ミリシーベルトですが、検査する部位や範囲、方法で異なります。一般的には CT 検査で受けた放射線の量が 100 ミリシーベルト未満であれば、検査を受けていない人に比べて発がん率や遺伝的影響の差はないといわれています。また、定期的な X線 CT 検査をおすすめすることがありますが、複数回の CT 検査を受けた場合でもその影響が蓄積するわけではありません。人体には、けがの回復と同じように放射線による影響に対する修復機能がはたらくからです。

放射線量の低減について

当センターでは放射線に関する法令や関連学会のガイドラインをもとに、検査における放射線量の適正化・最適化を行っています。小児においては小児専用の撮影条件を用い、より一層の被ばく線量の低減に努めています。

令和 2 年 4 月 1 日

松山市医師会健診センター